

いわき市防災マップ【勿来地区】

さいがい

じょうほう

せつめい

災害の情報の説明

①河川洪水浸水想定

（較川、四時川、余木田川、山田川、渋川、蛭田川、渚川、藤原川、釜戸川、宝珠院川、岩崎川）

1000年に1回くらの大雨で川の堤防が壊れて水が外に出たときに、水が来るところです。
2018年3月から2023年7月までに福島県が決めた情報です。
上に書いてある川を調べた情報です。
線状降水帯などで、たくさん雨が短い時間に降ったときは、川の水は地図に色がついていないところにも来るかもしれません。
（詳しくは福島県のウェブサイトを見て下さい。[https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41045b/kouzuisinsou.html]

②津波浸水想定

とても大きな津波が来たときに、どこに水が来るかを書いています。
2022年8月に福島県が発表した情報です。
（詳しくは福島県のウェブサイトを見て下さい。[https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41045a/tsunami-shinsuisoutei.html]

③土砂災害警戒区域、④土砂災害危険箇所

大雨や地震のときに土砂災害が起きるかもしれないところです。
2023年2月17日までに決まった情報です。
（詳しくは福島県のウェブサイトを見て下さい。[https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/411380a/kisochousakekka-iwakisensetsu.html]

その他

いわき市が決めた避難所などや、浸水想定区域にある要配慮者利用施設（災害のときに助けが必要な人が使う場所）のことなどは、いわき市のウェブサイトを見てください。
どの避難所が使えるか、どのくらい避難所が混んでいるかはVACANを見て下さい。ウェブサイトから地図で確認できます。

いわき市が決めた避難所など

浸水想定区域にある要配慮者利用施設など

VACAN(使える避難所が確認できます。)

地図の説明

避難施設（逃げる場所）

一時避難場所（少しのあいだ逃げる場所）
津波避難場所（津波のときに逃げる場所）
津波避難ビル（津波のときに逃げる建物）
広域避難場所（大きい火事の際に逃げる場所）
避難所（逃げる場所）

※「こうずい×」は洪水のとき使えません。「つなみ×」は津波のとき使えません。

その他の場所

役所や消防署など
警察や電気などに関係のある場所
病院
冠水危険箇所（雨がたくさん降ると水が入ってきて危ない場所）
河川洪水浸水想定区域の解析起点（※ここから川を調べています。）
地区を分ける線

災害が起きそうな場所

①河川洪水浸水想定区域

（川の水が外に出たときに水が来る場所）
川の水が外に出たときの水の高さ（水の上から地面までの高さ）を書いていきます。
20mより高い
10m～20m
5m～10m
3m～5m
0.5m～3m
0.5mより低い

②津波浸水想定区域

（津波が来たときに気をつける場所）
津波浸水想定区域

③土砂災害警戒区域

（土砂災害が起きそうな場所）
土砂災害特別警戒区域
土砂災害警戒区域

④土砂災害危険箇所

（土砂災害のときに気をつける場所）
土石流危険渓流
土石流危険区域
急傾斜地崩壊危険箇所
急傾斜地崩壊被害想定区域
地すべり危険箇所

【注意】・災害がひどいとき、洪水浸水想定区域にある避難所は使えないことがあります。

50001:35,0003,000m

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 5JHs 851